

# GUIまたはCLIを使用したEメールセキュリティ アプライアンス(ESA)のアップグレード

## 内容

---

[はじめに](#)

[アップグレードの準備](#)

[GUIによるESAのアップグレード](#)

[CLIによるESAのアップグレード](#)

[重要なアップグレード情報](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、GUI または CLI を使用して Cisco E メール セキュリティ アプライアンスをアップグレードする方法について説明します。

## アップグレードの準備

このドキュメントで説明しているESAのアップグレードに備えてシステムを準備するために、[ESAリリースノート](#)を確認し、次の手順を実行することをお勧めします。

1. ESAからXML設定ファイルをコピーして保存します。
2. セーフリスト/ブロックリスト機能を使用する場合は、[アプライアンスからリストをエクスポートします](#)。
3. リスナーを中断します。



注：単一のESAがあり、メールフローに影響を与えたくない場合は、リスナーを中断しないでください。メールフローはリブート中に影響を受けます。


4. GUIを使用してサーバをアップグレードします。リストから入手可能な最新バージョンを選択することをお勧めします。
5. リスナーを一時停止した場合（ステップ3）、CLIにResumeと入力し、アップグレード完了後にリスナーをアクティブ化します。



警告：アップグレードを開始する前に、アプライアンスが正常に動作していることを確認してください。CLIでversionコマンドを入力し、RAIDステータスが「Optimal」であることを確認します。アプライアンスに障害のあるハードディスクドライブ(HDD)がある場合は、サポートケースを開き、HDDのRMAとリビルドをアップグレード前に完了します。障害が


---

---

 発生したHDDを搭載したアプライアンスをアップグレードすると、HDDの破損や、1台のHDDで稼働するアプライアンスでの予期しない問題を引き起こす可能性があります。

---

## GUIによるESAのアップグレード

 注：アップグレードの際には、CLIを使用して行うことを推奨します。アップグレードパッケージのダウンロードに関する詳細と、アップグレードプロセスの詳細が表示されます。アップグレードに関する問題や障害が発生した場合は、CLIの出力がトラブルシューティングに役立ちます。


---

GUIのオンラインヘルプには、ESAのアップグレード方法と要件に関する詳細な説明が記載されています。GUIからHelp > Online Helpに移動し、Indexタブを使用してUpgrade AsyncOSを検索するだけです。ESAをアップグレードするために提供される情報を使用します。

## CLIによるESAのアップグレード

CLIからESAをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. ESAの設定を電子メールにコピーして、自分に送信します。パスワードの入力を求められたら、Yesを選択します。これにより、必要に応じてコンフィギュレーションファイルをインポートできます。

 注：ESAが1つある場合、ESAのアップグレードが行われている間もメールフローを継続することは安全です。ESAがメールを受け入れない唯一のケースは、リブート時です。

---

2. 複数のESAがある場合は、アップグレードするマシンのリスナーを中断します。CLIにsuspendlistenerと入力し、インバウンドリスナーを選択します。他のマシンはメールフローのすべてを処理します。
3. CLIにupgradeと入力します。ESAが新しいAsyncOSバージョンをダウンロードして適用します。このプロセスには、ネットワーク速度とAsyncOSのバージョンに応じて、約10 ~ 30分かかります。
4. アップグレードが完了すると、ESAはCLIでリブートを促し、リブートする前に最大30秒表示します。(リブート中にIPアドレスにpingを実行して、ESAがオンラインかどうかを確認できます)。
5. リポートが完了したら、ESAにログインし、リスナーをアクティブ化します。CLIにresumeristenerと入力し、中断されているリスナーを選択します。
6. メールフローを確認するために、CLIにtail mail\_logsと入力します。

## 重要なアップグレード情報

ESAのリリースノートを読んで、このドキュメントに記載されている手順を実行すると、ESAのCLIにadminユーザとしてログインし、upgradeと入力できます。

ESAリリースノートに記載されているアップグレード手順に従うことが重要です。アップグレードを試みても目的のAsyncOSバージョンが使用できない場合は、ESAで実行しているバージョンで直接アップグレードが許可されていない可能性があります。認定アップグレードパスについては、ESAのリリースノートを参照してください。

ESAシステムで実行しているAsyncOSバージョンで直接アップグレードがサポートされていない場合は、リリースノートに記載されているように複数のアップグレードを実行する必要があります。アップグレードパスの次のステップのみが表示され、承認レベルに達すると次のリビジョンが表示されます。

## 関連情報

- [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス : エンドユーザ ガイド](#)
- [ESAに関するFAQ : セーフリスト/ブロックリストのバックアップを生成する方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。